

**2027年1月期
第2四半期(中間期)決算説明資料
不二電機工業株式会社**

2026年9月3日
東証スタンダード市場
証券CD:6654

目次

1 . 2027年1月期(中間)決算概要(損益計算書)	3P
2 . 2027年1月期(中間)決算概要(製品群別)	4P
3 . 2027年1月期(中間)決算概要(売上高内訳)	9P
4 . 2027年1月期(中間)決算概要(貸借対照表)	10P
5 . 2027年1月期(中間)決算概要(キャッシュ・フロー計算書)	11P
6 . 2027年1月期(中間)設備投資	12P
7 . 2027年1月期(中間)財務指標	13P
8 . 2027年1月期(中間)マーケットシェア	14P
9 . 2027年1月期(中間)決算概要(市場別売上)	15P
10 . 2027年1月期(期末)業績予想(損益計算書)	17P
11 . 2027年1月期(期末)業績予想(製品群別売上高)	18P
12 . 株主還元	19P

参考資料

1. 2027年1月期(中間) 決算概要(損益計算書)

単位(百万円)

	2026年1月期	2027年1月期	増減額	増減率
売上高	1,908	1,972	＋63	＋3.3%
売上総利益	632	587	△45	△7.1%
販管費	496	500	＋4	＋0.8%
営業利益	136	86	△49	△36.1%
経常利益	160	124	△35	△22.0%
中間純利益	114	92	△21	△19.0%
1株あたり利益	21.41円	17.89円	△3.52円	△16.4%

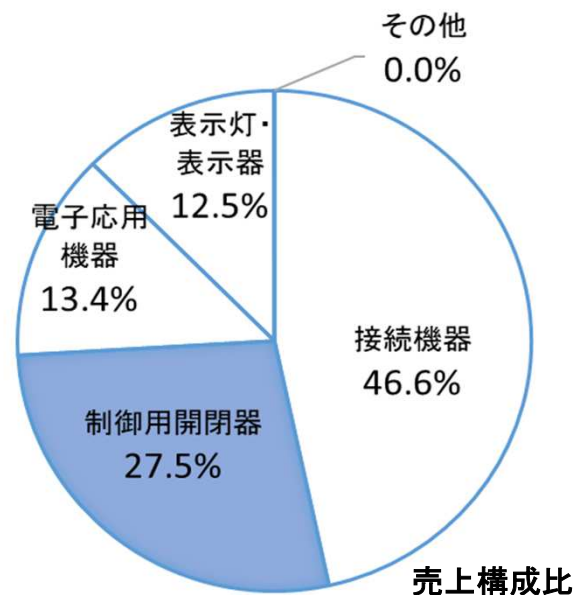
【決算概要】

- ◆ 売上高は、制御用開閉器で減収、接続機器、表示灯・表示器、電子応用機器で増収の結果、前年同期比3.3%増の1,972百万円
- ◆ 中間純利益は、材料費高騰による製造原価の増加の結果、前年同期比19.0%減の92百万円

2. 2027年1月期(中間) 決算概要(製品群別)

制御用開閉器

単位(百万円)



	2026年 1月期	2027年 1月期	増減額	前年同期比
売上高	561	541	△20	96.4%
受注高	522	595	+73	114.0%
受注残高	379	412	+33	108.9%

売上高 鉄道車両用スイッチが増加
補助スイッチが減少

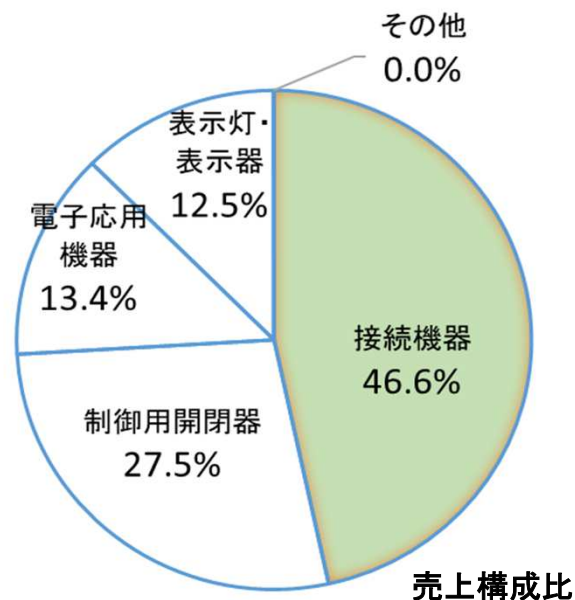


2027年1月期	(中間実績)	(通期予算)	進捗率
売上高	541	1,182	45.8%

2. 2027年1月期(中間) 決算概要(製品群別)

接続機器

単位(百万円)



	2026年 1月期	2027年 1月期	増減額	前年同期比
売上高	849	919	+70	108.3%
受注高	866	1,020	+154	117.8%
受注残高	292	455	+162	155.7%

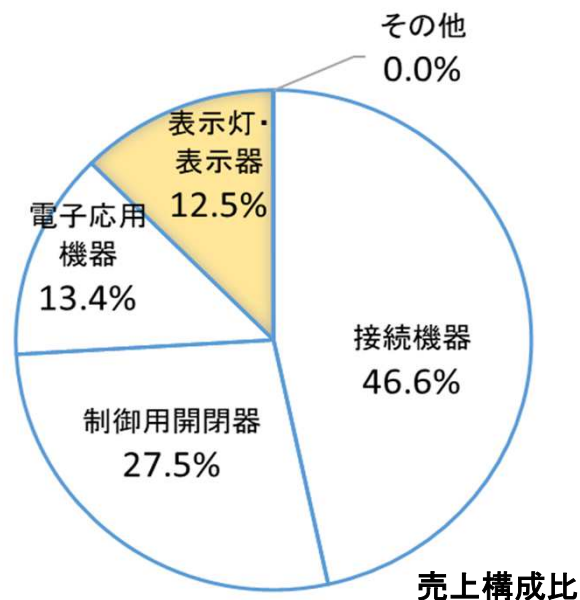
売上高 汎用端子台、サージアブソーバー端子台、コネクタが増加



2027年1月期	(中間実績)	(通期予算)	進捗率
売上高	919	1,829	50.3%

2. 2027年1月期(中間) 決算概要(製品群別)

表示灯・表示器



単位(百万円)

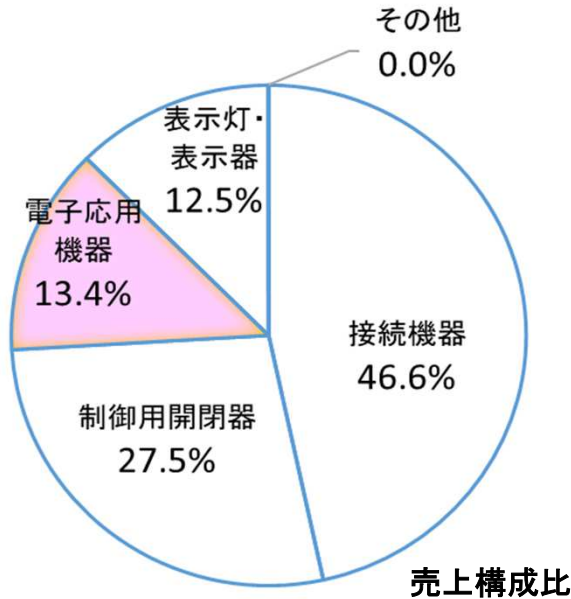
	2026年 1月期	2027年 1月期	増減額	前年同期比
売上高	226	246	+19	108.7%
受注高	213	272	+58	127.6%
受注残高	167	226	+58	134.7%

売上高 各種表示器、集合表示灯が増加

2027年1月期	(中間実績)	(通期予算)	進捗率
売上高	246	496	49.6%

2. 2027年1月期(中間) 決算概要(製品群別)

電子応用機器



単位(百万円)

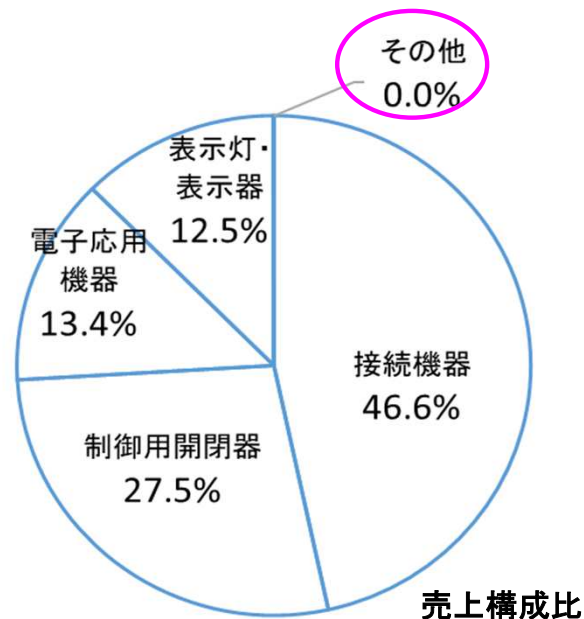
	2026年 1月期	2027年 1月期	増減額	前年同期比
売上高	257	264	+7	103.1%
受注高	288	324	+35	112.4%
受注残高	239	275	+36	115.1%

売上高 テレフォンリレーや表示モジュールが増加
I / Oターミナルが減少

2027年1月期	(中間実績)	(通期予算)	進捗率
売上高	264	683	38.8%

2. 2027年1月期(中間) 決算概要(製品群別)

その他



単位(百万円)

	2026年 1月期	2027年 1月期	増減額	前年同期比
売上高	14	0	△13	4.1%
受注高	25	24	△1	95.2%
受注残高	21	23	+2	109.7%

売上高 装置製作が減少

2027年1月期	(中間実績)	(通期予算)	進捗率
売上高	0	60	1.0%

3. 2027年1月期(中間) 決算概要(売上高内訳)

単位(百万円)

	2026年1月期		2027年1月期	
既存/新製品売上高	売上高	売上高比率	売上高	売上高比率
既存製品(※)	1,818	96.0%	1,922	97.5%
新製品(※)	75	4.0%	49	2.5%
国内/海外売上高				
国内	1,713	89.8%	1,797	91.1%
海外	195	10.2%	175	8.9%

(※)その他を除く

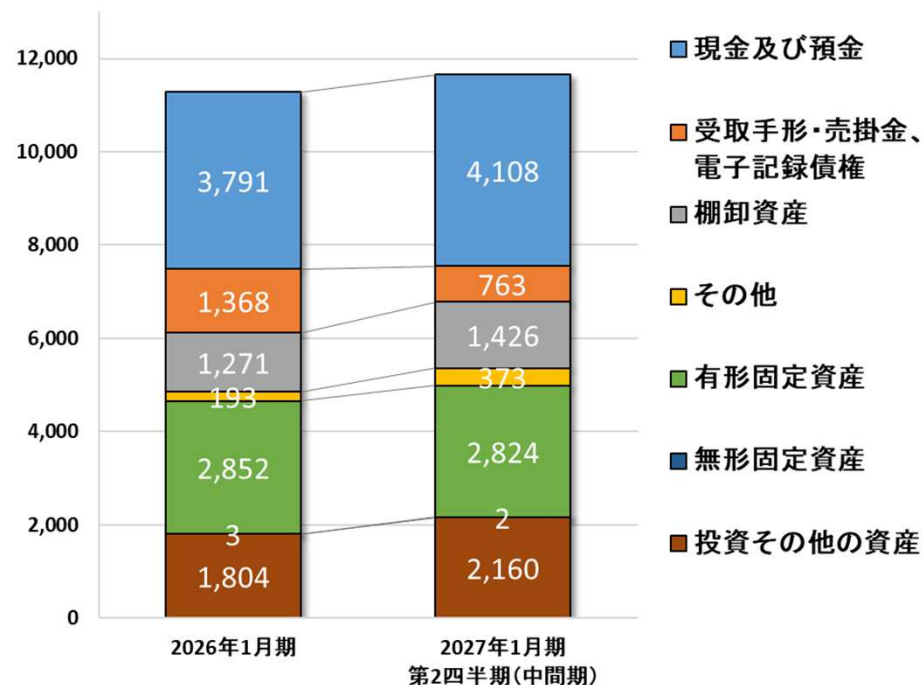
【決算概要】

- ◆ 既存製品ではサージアブソーバー端子台(接続機器)が前年同期比約40%増、新製品では通信インターフェースユニット(電子応用機器)を初出荷
- ◆ 海外売上高はカムスイッチ(制御用開閉器)が好調、鉄道車両用表示灯が伸びず

4. 2027年1月期(中間) 決算概要(貸借対照表)

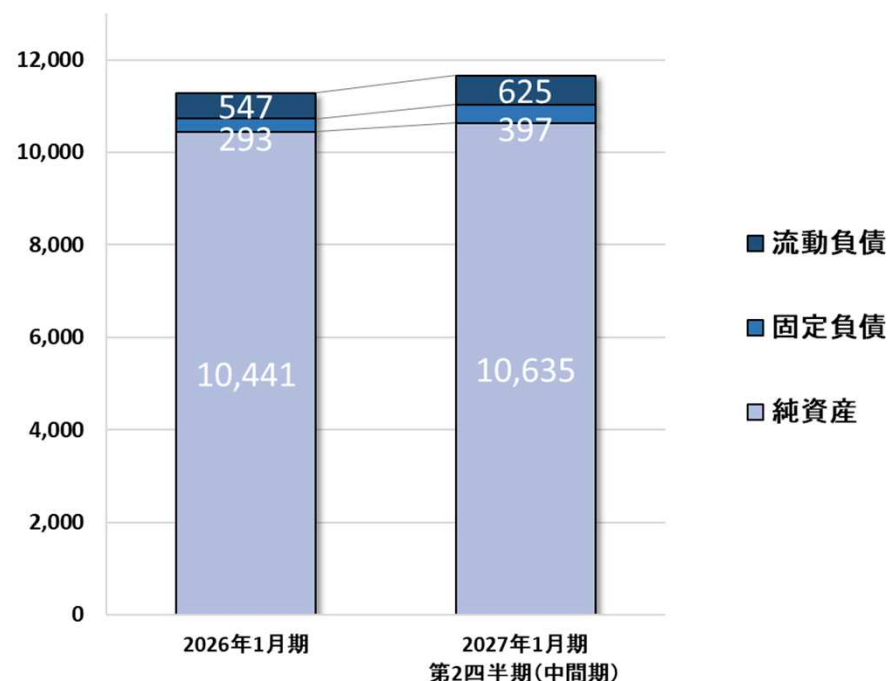
単位(百万円)

資産



単位(百万円)

負債・純資産



◆ 現金及び預金

317百万円増

◆ 売掛金

431百万円減

◆ 繰延税金負債

80百万円増

◆ その他有価証券評価差額金 179百万円増

5. 2027年1月期(中間) 決算概要(キャッシュ・フロー計算書)

単位(百万円)

	2026年1月期	2027年1月期	増減額	2027年1月期の主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	267	775	+507	税引前中間純利益 124 売上債権の減少 604 棚卸資産の増加 △155
投資活動による キャッシュ・フロー	△468	△378	+90	有価証券の取得 △200 投資有価証券の取得 △200
財務活動による キャッシュ・フロー	△85	△82	+2	配当金の支払額 △82
現金及び現金同等物の 増減額	△287	317	+604	—
現金及び現金同等物の 期首残高	980	591	△389	—
現金及び現金同等物の 中間残高	693	908	+215	—

6. 2027年1月期(中間) 設備投資

単位(百万円)

	2026年1月期	2027年1月期	増減額	増減率
設備投資	74	79	+5	+7.3%
減価償却費	100	108	+7	+7.7%

【2027年1月期(中間)の主な設備投資】

- ・自動組立装置 24百万円
- ・空調設備更新 23百万円

7. 2027年1月期(中間) 財務指標

	2026年1月期	2027年1月期	増減 ポイント	算式
自己資本比率(%)	92.0	91.2	△0.8	自己資本/総資産
自己資本利益率(ROE)(%)	1.1	0.9	△0.2	当期純利益/ (前期+当期自己資本)÷2
総資産当期純利益率(ROA)(%)	1.0	0.8	△0.2	当期純利益/ (前期+当期総資産)÷2
売上高経常利益率(%)	8.4	6.3	△2.1	経常利益/売上高
株価収益率(PER)(倍)	48.9	62.1	+13.2	株価/1株当たり利益
株価純資産倍率(PBR)(倍)	0.5	0.5	0.0	株価/1株当たり純資産

8. 2027年1月期(中間) マーケットシェア

単位(%)

	2026年1月期	2027年1月期	増減ポイント
カムスイッチ	50.4	49.6	△0.8
押しボタンスイッチ	0.8	0.8	0.0
その他のスイッチ	13.5	11.8	△1.7
端子台	7.4	6.7	△0.7
表示灯	4.7	4.0	△0.7
アナンシェータ リレー	6.7	5.2	△1.5
その他の制御用 専用機器	9.1	9.4	+0.3

- (注) 1. 当社製品でNECA(一般社団法人日本電気制御技術工業会)の「出荷統計」品目に合致するものについて、出荷金額の比較によりマーケットシェアを算出しております。
2. 統計期間は、通期でNECA(4月～3月)と当社(2月～1月)において期間が相違しておりますが、比較の為、NECAの統計数字を当社期間に合わせ修正しております。

9. 2027年1月期(中間) 決算概要(市場別売上)

重点市場の実績(2027年1月期) ～ 今後の市場見通し

(1) 重電機器市場

<電力>

実績 107.7%(前年同期比)

✓設備投資(送電網増強)が継続

- ✓部品長納期化対策として一括手配された用品の在庫消化が進み、手配が再開。
- ✓送電網の増強による設備投資が堅調に推移。特に変電所で使用される開閉器、変圧器は各社増産体制に移行。また、デジタル化に追随した新製品の提案を継続的に推進。

<公共・民需>

実績 102.8%(前年同期比)

✓省工数関連製品の拡大

- ✓公共関係の設備投資は堅調に推移。民需関係は大規模都市開発や 物流倉庫、データセンター向け省工数製品の引合いが増加。
- ✓建築・物流業界を中心とした人手不足の高まりを受け、顧客設備計画の工期延長が懸念材料。

<鉄道変電>

実績 64.7%(前年同期比)

✓既設更新案件の工期遅延も再開により回復の見立て

- ✓鉄道用変電所(既設更新)案件の工期遅延により、停滞。
- ✓26年度に入り、案件の再開により新規受注が進み、売上は下期以降に回復の見込み。
- ✓鉄道事業者の業績回復を受けた設備計画の見直しに期待。また、デジタル化に追随した新製品の提案を継続的に推進。

9. 2027年1月期(中間) 決算概要(市場別売上)

重点市場の実績(2027年1月期) ～ 今後の市場見通し

(2) 鉄道車両市場

実績 118.3%(前年同期比)

✓ 新型車両生産数の回復

✓ 新型車両の生産数は低調な状況であったが、26年度以降は緩やかに回復する見込み。

✓ ワンマン化など省人化ニーズの高まりを受け、対応製品の提案を推進。また、自動運転の導入に向けたニーズも高まっており、新規商材の開発を見込む。

(3) 海外市場

実績 89.7%(前年同期比)

✓ 東アジア案件の停滞

✓ アジア: 中東情勢で停滞していた東アジアの電力向け保護案件も再開されるとの情報であり、試験端子の大口需要を見込む。

✓ 中東: 停滞していた数件の更新案件が動き、表示器等の売上を見込む。Oil & Gas分野向け案件で表示器の採用に期待。

✓ 米国: 北米の地下鉄向けの大口径案件は継続も、予定よりも工期が後倒しになり、次年度に遅れる見通し。但し今後数年間にわたり、継続的な売上を見込む。

10. 2027年1月期 業績予想(損益計算書) 修正なし

単位(百万円)

	2026年1月期 実績	2027年1月期 予想	増減額	増減率
売上高	3,777	4,250	+472	+12.5%
売上総利益	1,232	1,333	+100	+8.2%
販管費	984	1,057	+73	+7.4%
営業利益	248	276	+27	+11.2%
経常利益	303	323	+19	+6.5%
当期純利益	236	224	△11	△4.8%
1株あたり利益	44.27円	42.15円	△2.12円	△4.8%

11. 2027年1月期 業績予想(製品群別売上高) 修正なし

単位(百万円)

	2026年1月期 実績	2027年1月期 予想	増減額	増減率
制御用開閉器	1,032	1,182	+149	+14.5%
接続機器	1,713	1,829	+115	+6.8%
表示灯・表示器	469	496	+26	+5.7%
電子応用機器	524	683	+158	+30.1%
その他	38	60	+21	+57.6%
合計	3,777	4,250	+472	+12.5%

12. 株主還元

	2023年1月期 (65期)	2024年1月期 (66期)	2025年1月期 (67期)	2026年1月期 (68期)	2027年1月期 (69期) 予想
年間配当金	32円	35円(※1)	32円	32円	32円(※2)
配当性向	68.4%	55.5%	72.8%	72.3%	75.9%

(※1) 2024年1月期(66期)の年間配当金は、創業70周年記念配当金3円を含んでおります。

(※2) 2027年1月期(69期)予想の中間配当金は、16円(2026年10月1日支払予定)となっております。

【配当の基本方針】

- 目標配当性向: 50%
- 年2回配当(中間配当(10月上旬)と期末配当(4月下旬))
- 長期的、安定的配当

參考資料

当社の概要

不二電機工業株式会社

事業：電気制御機器の製造販売

代表者：代表取締役社長 八木 達史

創業：1953年（昭和28年）

設立：1958年（昭和33年）

資本金：10億8,725万円

売上高：37億7,794万円（2026年1月期）

本社：京都市中京区

従業員数：256名（2026年7月31日現在）
（パートタイマーを含む）



新旭工場（滋賀）

本社（京都）



琵琶湖



草津製作所（滋賀）



みなみ草津工場（滋賀）

東京オフィス
（東京）

当社製品群

制御用開閉器



接続機器



表示灯・表示器



4つの 製品カテゴリー

電子応用機器



当社製品群

装置・金型製造

3つのM 'Mechatronics' (メカトロニクス)、'Mold' (金型)、'Manpower Saving' (省人化)を掛け合わせ、相互作用による立体的なエンジニアリングを提供します。

M³(エムキューブ) エンジニアリング部

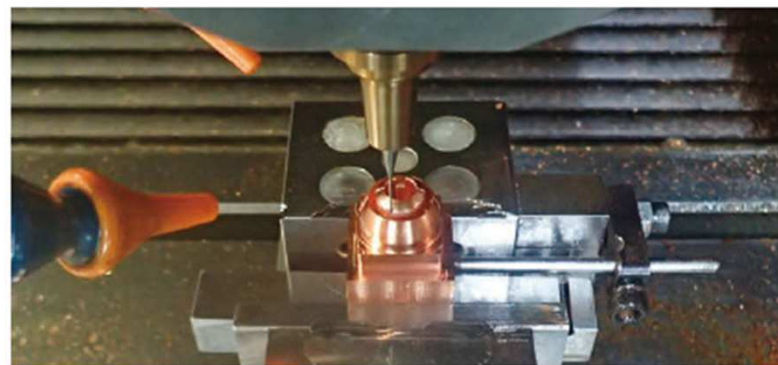
装置製作

汎用ロボットを使った自動化装置をはじめ、各工程に合った補助装置の提案と装置設計・組立を行っています。さらに、自社ブランド装置の製作及び販売を行います。



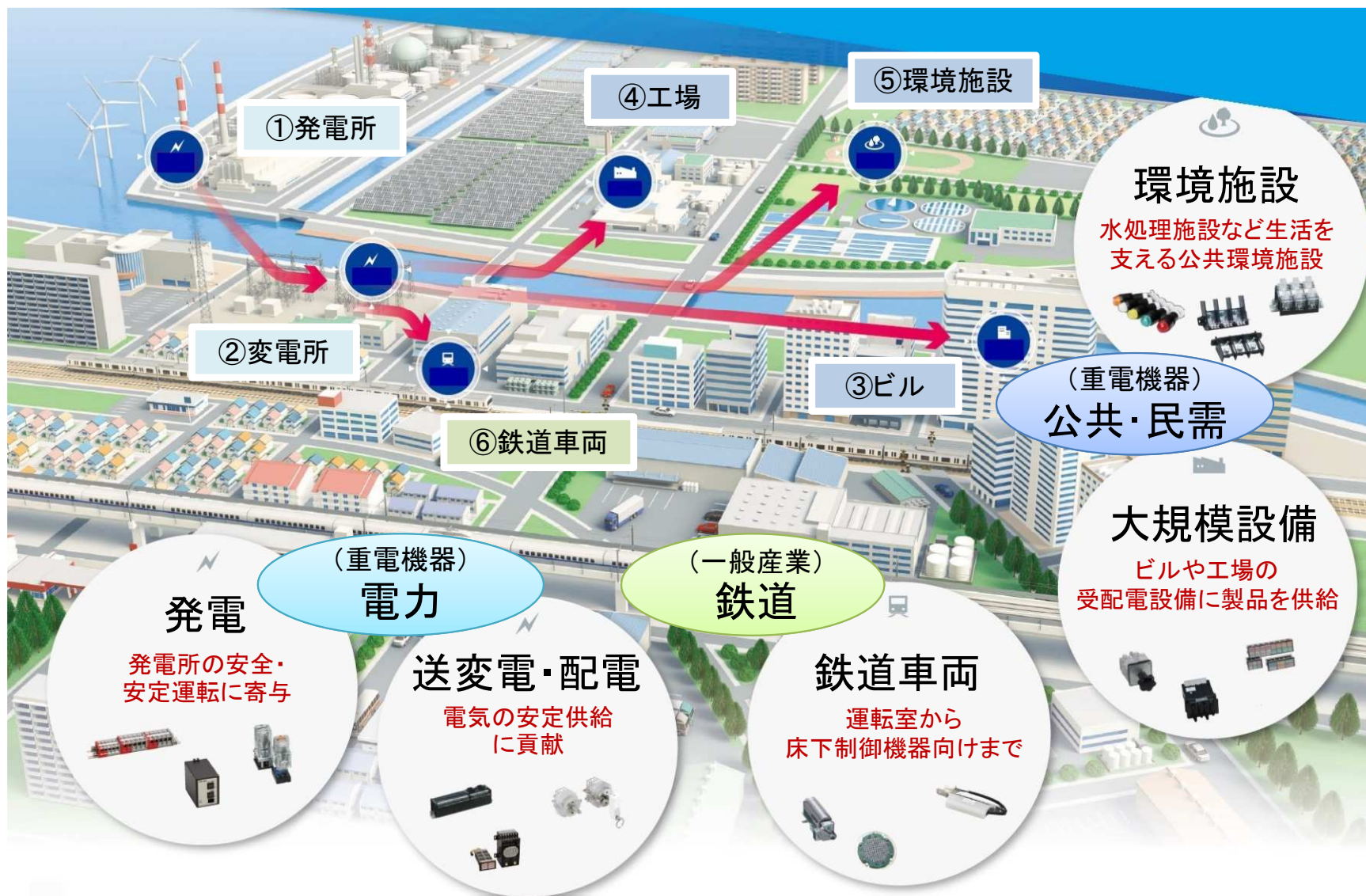
金型製作

プラスチック成形金型を中心に、新規金型製作や金型のメンテナンスまで幅広く対応を行っています。装置製作で培った技術を応用し市場競争力の高い金型を製作します。



主な市場

人の暮らしを支える**社会インフラ**向けに **電気制御機器** を提供



重電機器市場における主な製品

発電所・変電所などの
安心・安全な電力供給を
担う設備に使用



配電盤・キュービクル



B/BHシリーズ

切替スイッチ・操作スイッチ

B/BHシリーズをはじめとする当社のカムスイッチは、電流計・電圧計用の切替スイッチや遮断器の操作スイッチなど、様々な用途でご使用いただけます。豊富な操作機構と接点構成でお客様の多様なニーズにお応えいたします。

端子台

当社端子台は、信号レベルから大電流まで幅広い電流容量に対応しております。また、耐圧試験やシーケンス試験用の治具を使用することができるTJシリーズなど、付加価値を有した端子台も数多く取り揃えております。



TJシリーズ



TXシリーズ



ATTシリーズ

KTTシリーズ

試験用端子

計器などの指示校正や試験に用いられる製品です。とりわけ差込式のKTTシリーズは30年以上の販売実績を誇るベストセラー製品で、CT回路用は回路が開放しない安全構造を採用しております。

公共施設(水処理施設等)や
太陽光発電設備にも使用



コントロールセンタ

断路部(ジャック)

コントロールセンタを構成するユニットの主回路電源側及び負荷側の断路部に、当社製品をご採用いただいております。電流容量や母線ピッチ、接続方向など各種ニーズに対応した構造を用意しております。



PDSシリーズ(主回路側)



KJシリーズ(主回路側)



MEJAシリーズ(負荷側)



SJシリーズ(負荷側)

再生可能エネルギー発電設備

遮断端子台(開閉器)

太陽電池ストリングを配線する開閉器に使用されております。SDHシリーズは、DC1000V、13A*の遮断能力を有しておりますので安全なメンテナンスに貢献しております。また端子台と同じくDINレールに搭載可能です。

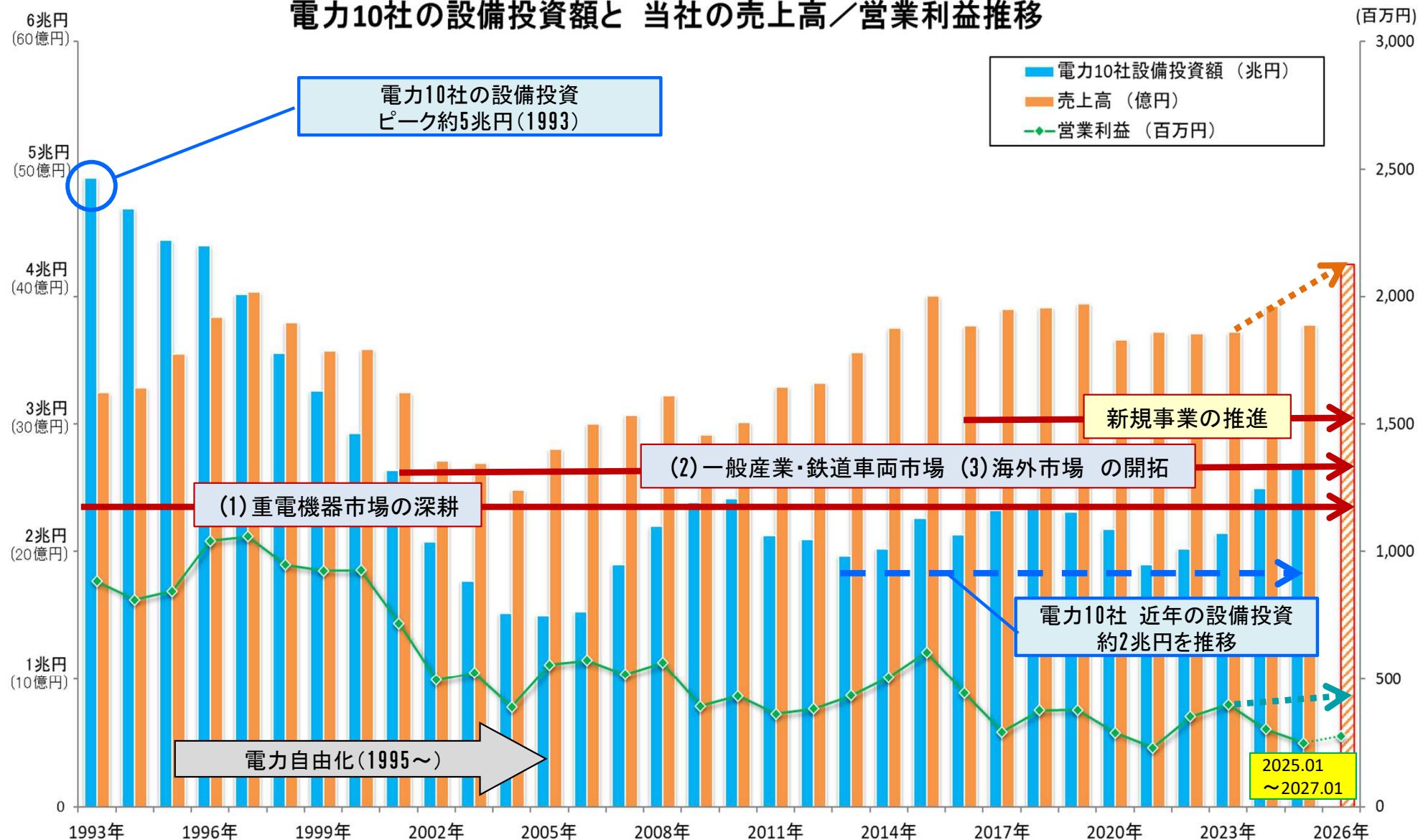
*使用負荷種別: DC-21Bの場合



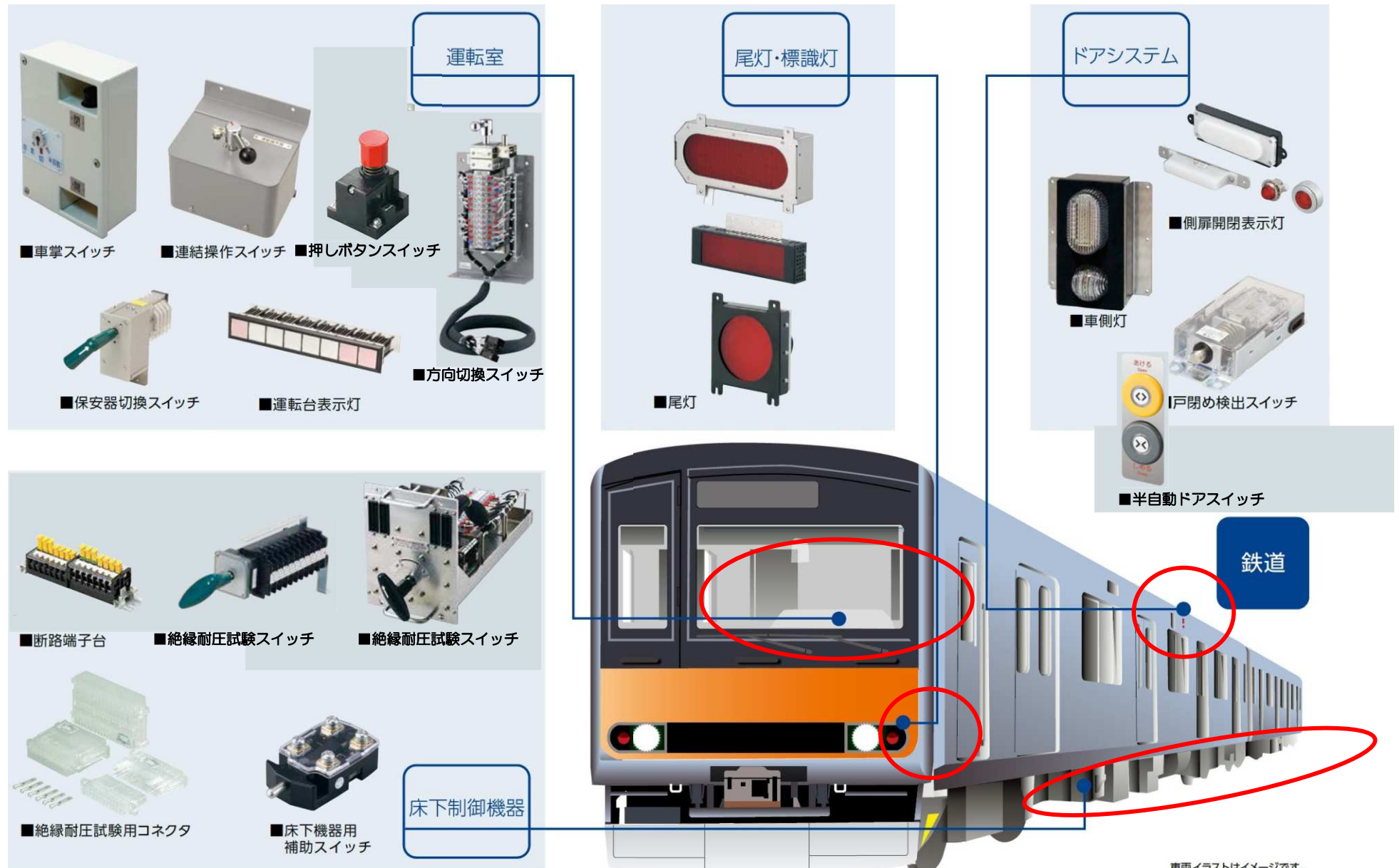
SDHシリーズ

電力会社の設備投資と当社売上高

電力10社の設備投資額と 当社の売上高／営業利益推移

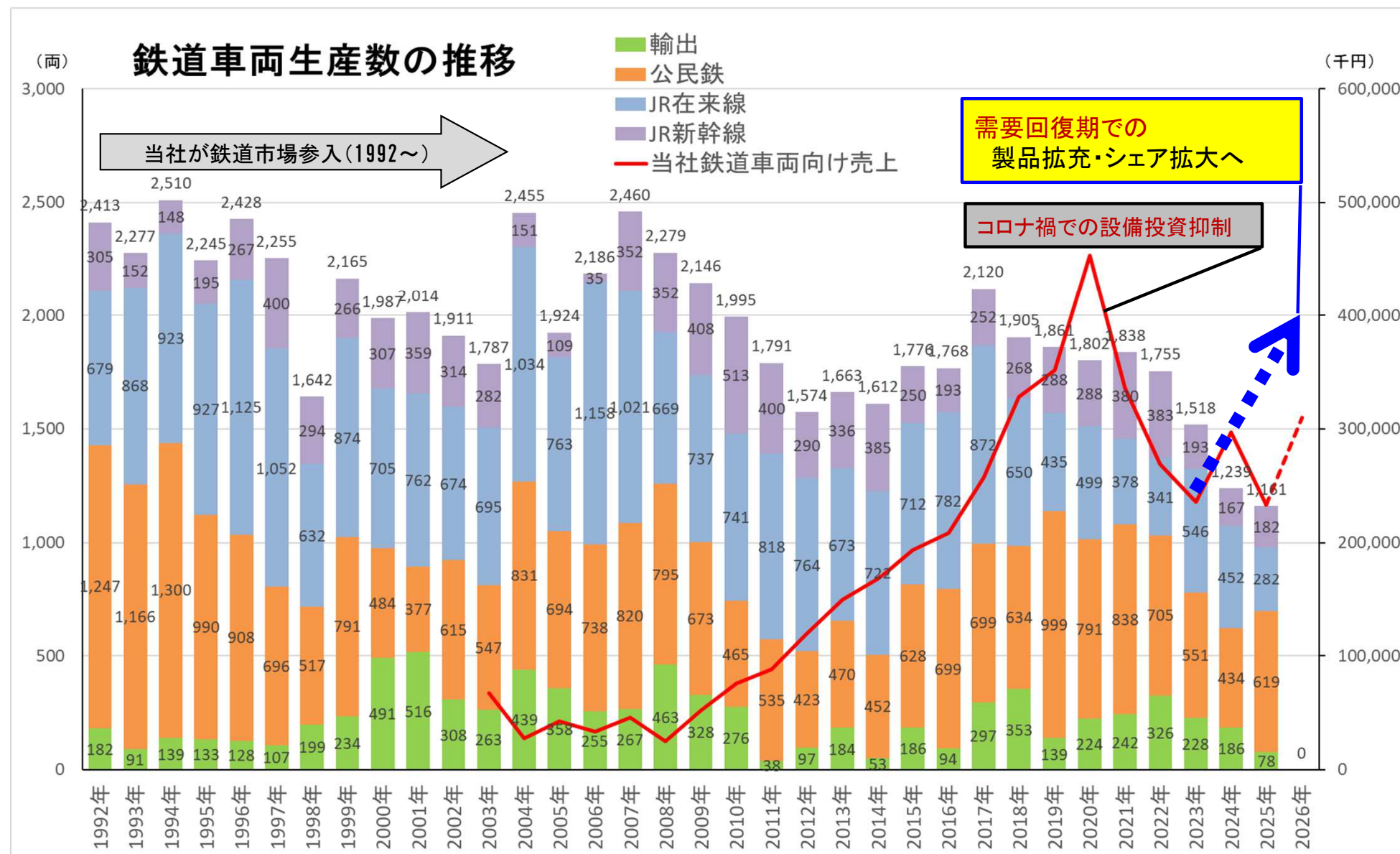


鉄道車両市場における主な製品



車両イラストはイメージです。

鉄道車両生産数と当社売上高



出所) 鉄道車両工業会HP「国内生産推移統計データ」<https://www.tetsushako.or.jp/>

注意事項

本資料は情報提供を目的として作成しているものであり、当社株式の購入等の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料にて開示されている資料は、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。

この将来予測に基づく記載は、景気動向、マーケット状況、その他潜在的なリスクや不確定要素を含みます。

本資料は、現時点までに入手可能な情報及び将来の経営環境等の前提に基づいており、実際の結果が、今後様々な要因により、記載されている将来見通しとは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また、本資料の情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性及び確実性を保証するものではありません。当社は記載された情報又はデータの誤り、不正確に関して一切責任を負うものではありません。

予告なしに内容が変更又は廃止される場合があります。